

「自分で掘り下げて考えたことしか後に残らない。本を読んでも忘れてしまう。」という言葉には納得させられた。説得型から納得型へと変わるきっかけになったと思います。

これまでに漠然と”理解したつもりになっていた”自分のミッションに関わる様々な関係が明確に理解でき、かつ、説明もツボを押さえてシンプルにできるようになった。非常に有意義でした。

非常に納得感が高い講義でした。図のもつ可能性がこれ程高いものであることに驚きました。ただ驚くだけでなく、納得感がありました。

迷った時や困難な問題に向き合った時こそ、図の活用を試みたいと思います。

この手法を、相手国のクライアント等とのコミュニケーションツールとして使っていきたい。その他、パーソナルライフでも有効に活用し、紛争解決などに役立てたい。

図に情報を全部入れるのは難しいため、重要な項目のみを選ぶのは、大きな効果と感じた。

有効性を再認識する事ができました。ステークホルダーに一目でわかる関係性と一歩引いた客観性をプレゼンしたい。非常に簡便なツールを紹介していただき、ありがとうございました。

「具体的」の重要性は、今回の様々な研修の中で思い知らされました。「自分が深く理解する」ことが、これからの課題です。

図解を広めるにあたってはルールなど決めるのが良いのではと思った。ケニアでは箇条書きはエリート、図を書いているのは幼稚園児だと言われたことがあり、なかなか難しいと感じていますが、活用していきたいと思います。

研修終了時、頭が熱く、多少痛くなりました。図解をすると頭がよく使われると実感しました。

とても最も思うことが多く、気づきをたくさん感じました。”図を描く”ということを取り入れようと思います。

著書は昔から読ませて頂いておりましたが、実際の講義を受講できて感激しました。

プロジェクト関係者が非常に多く、複数の活動が従属的にリンクしているため、頭の整理をするのに大いに役立った。継続的に図を更新してみたい。

どうしたらより良い図になるのか、技術的なことを教えてほしかった。

海外赴任をする前に大変参考になりました。また、この思考を県警察の運営にも取り入れたいと感じました。

「説得型」から「納得型」へというお話は大変役に立ちました。今後の人とのコミュニケーションを行う際に気を付けたいと思います。人に何かを伝える際には、まず図解で頭の中を整理してから、話をするようにしたいと思います。

初めての視点で興味深かったです。